

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年10月16日

計画の名称	7 元気で安全・安心な兵庫の道づくり（ICアクセス道路等関連）											
計画の期間	平成 30 年度 ~ 令和 04 年度 (5年間)											
交付対象	兵庫県、小野市											
計画の目標	人流・物流の効率化や成長基盤の強化に資する「駅や工業団地、高速IC等へのアクセス道路」の整備を促進し、ストック効果を高め、活力のある地域を形成する。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	3,933	A	3,933	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
					H30当初	H32末	H34末
1	駅、工業団地、高速IC等の施設を利用し、周辺の幹線道路、施設等の主要地に至る交通の所要時間の短縮 駅、工業団地、高速IC等の施設を利用する交通における主要地間のアクセス時間短縮率 主要地間のアクセス時間短縮率 = [1 - { (評価時点の主要地間の所要時間) / (H30当初の主要地間の所要時間) }] × 100		0%	25%	30%		

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
・兵庫県強靭化計画、定住自立圏に基づき実施される要素事業：下記備考欄に記載												

A 基幹事業																																																		
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）		全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況																																		
		H30		H31		R02		R03		R04																																								
		一體的に実施することにより期待される効果																																																
備考																																																		
道路事業																																																		
A01-001	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府	改築	(主)宗佐土山線 加古川市八幡町		現道拡幅 L=1.3km	加古川市					520	-																																	
	兵庫県強靭化計画																																																	
	A01-002	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府	新設	(一)豊岡インター線 豊岡市戸牧		バイパス L=0.6km	豊岡市				1,078	-																																	
A01-003	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府	改築	(主)但馬空港線 豊岡市戸牧~岩井		バイパス L=2.2km	豊岡市					780	-																																	
	A01-004	道路	一般	小野市	直接	小野市	市町村道	新設	新都市南北線		道路新設 L=1.7km	小野市					805	-																																
	A01-005	道路	一般	小野市	直接	小野市	市町村道	新設	新都市南北線2工区		道路新設 L=1.1km	小野市					750	-																																
											小計					3,933																																		
											合計					3,933																																		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

兵庫県土木部・小野市で評価

事後評価の実施時期

令和7年10月

公表の方法

ホームページで公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関する
交付対象事業の効果の発現状況

新都市南北線などの整備により、産業団地等へのアクセスが向上し、交通の所要時間が短縮された。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）	目標値 / 実績値	
	目標値と実績値に差が出た要因		
1	主要地間のアクセス時間短縮率		
	最終目標値	30%	一部の要素事業が本計画から他の整備計画（21 元気で安全・安心な兵庫の道づくり（国土強靭化（防災・減災）））に移行したことに伴い、本計画での整備延長が減少したため。